

★ 2025年12月5日（金） 日本丸メモリアルパークにて

「第34回 障害福祉の未来を考える集い」を開催いたしました。

主催：障害福祉の未来を考える集い実行委員会
横浜市障害者地域作業所連絡会
横浜市障害者地域活動ホーム連絡会
横浜市グループホーム連絡会

今年の「集い」も、みなとみらいの日本丸メモリアルパークで開催されました。
　会場参加したのは横浜市内 約５０の作業所・活動ホーム・グループホーム。当事者・家族・職員ら 700 名以上、ライブ中継ではおよそ 100 のアクセスが事業所・家族からありました。
　「障害者が安心できる街は誰もが暮らしやすい町」
　「障害者も地域で暮らせる制度の充実を！」の横断幕を掲げ、晴天の下盛況のうちに行われました。

★今回の「集い」は現地集合が難しい方々やご家族に向けて、**YouTube によるライブ中継**を試みました。
アクセスが出来ない等のお問い合わせもありましたが、多くの方にお届けできたかと思います。







第１部

ハートランドメンバーによる開会宣言に続き、集い実行委員長（黒井広行氏）が挨拶。主催者代表 谷口氏（横浜市障害者地域作業所連絡会 会長）、来賓の横浜市健康福祉局障害福祉保健部、障害者支援センター、横浜知的障害関連施設協議会、市精連からの挨拶や激励があり、会場には横浜市議会 健康福祉・医療委員会、横浜市会議員の方々、支援学校の校長先生や進路担当の先生方もお越しいただき、見守り声援を送っていただきました。

横浜市民に向けた**アピール標語の発表・のぼり掲揚**を行ないました。障害者週間に向けた標語を募集し、各作業所から多数届いた作品の中から新しく４つの標語が選ばれ、＜「やまゆり」のいたみをわすれません＞とともに、のぼり旗の形で発表されました。



今年の標語（のぼり旗）

★ 障害 あってもなくても素敵な街
★ 生きていく！ 大好きな町、横浜
★ ～結び～ やさしさ繋がる心のバトン
★ 住みやすいグループホームに
★「やまゆり」のいたみをわすれません

仲間たちのアピールでは、作業所から**つぼみの家**の皆さん（泉区）、活動ホームから**みどり福祉ホームにじいろ**（緑区）、グループホームから**グループホームさくらの家**による発表があり、仕事や生活の様子、願いや将来の夢、グループホームの充実などを訴えました。

その後**「障害者が安心して通える日中活動場所や、安心して生活できる場をもっと充実させていくように努めること」**を宣言した集会宣言が参加者を代表して「港南福祉ホーム第２ひまわり」のメンバーに読み上げられました。

約１００通の**「横浜市長への手紙」**を健康福祉局障害福祉保健部長に気持ちを込めて手渡しました。



◆缶バッジデザインコンテスト入賞者表彰

缶バッジは被災地障害者支援計画（TEAM3）の一環として、被災地の作業所（福島県）へ缶バッジを注文し、当日の参加者に配布。

多数の応募の中から採用となった優秀デザイン賞（12 作品）の発表、感謝状の贈呈がありました。

第２部

ステージイベントでは、**雑貨工房みらい**（神奈川区）・**えだ福祉ホーム**（青葉区）・**港南福祉ホーム＆港南福祉ホーム第２ひまわり**（港南区）・**夢 21 上星川**（保土ヶ谷区）のメンバーによる合唱やダンス等で会場は盛り上がり、最後の**みんなで歌って踊ろう！**ではスタッフが全員ステージに上がり、歌ったり踊ったりと集いを満喫しました！

グループホーム連絡会 赤川会長のあいさつ、**浜風**のメンバーによる閉会宣言で締めくくりました。